気管支喘息とアレルギー性鼻炎の治療を受けられた患者さんと保護者の皆さまへ

福岡東医療センター 小児科では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	小児気管支喘息におけるアレルゲン舌下免疫療法が肺機能に与える影響
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 小児科 研究責任者 春日井 悠
【対象となる方】	① アレルギー性鼻炎と気管支喘息の診断を受けており、当院小児科外来で 2022年1月1日から 2024 年 12 月 31 日の間にダニ舌下免疫療法を初回導入してその後 1 年間以上治療を継続し、かつ定期的な肺機能検査を行っている方。 ② ダニ舌下免疫療法を導入していないが、アレルギー性鼻炎と気管支喘息の診断を受けており、当院小児科外来で 2020年1月1日から 2026年8月 31 日の期間で定期的な肺機能検査を 1 年間以上行っている方。
【研究の意義、目的、方法】	ダニ舌下免疫療法は、日本ではアレルギー性鼻炎に対する治療としてのみ承認されていますが、ダニアレルギーの関与する気管支喘息に対する効果も期待されています。鼻炎に対してダニ舌下免疫療法を行った気管支喘息の患者さまの、過去の肺機能の変化を確認し、改善がみられれば、ダニ舌下免疫療法は気管支喘息に対する治療としても有効であると推定することができ、気管支喘息の新たな治療選択肢となり得ます。
【利用する情報の種類】	年齢、性別、身長・体重、診療記録・症状スコア、血液検査：白血球数・好酸球数・総 IgE・ヤケヒョウヒダニ特異的 IgE、肺機能検査：努力肺活量（FVC）・一秒量（FEV1）・最大呼気流量（PEF）・最大呼気中間流量（MMF）・50％肺気量における呼気

	流速度(V50)、呼気中一酸化窒素濃度(FeNO)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者: 小児科　　春日井 悠 / 増本 夏子 住所:〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号:092-943-2331 (代表)